

●しゃらくかい

写楽回会

令和2年1月31日 49

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2020 Sharakukai

睦月兼題「冬の遊び」 出題：久芽

写真俳句



1 冬日和遊び相手の残り糸

残り毛糸でお茶帽子を編みました。



2 覚えてた カルタ取られて泣く子かな



3 雪つぶてうなじに受けて子の逃げる

雪遊び不覚にも後ろからやられました。
写真はよその子です。



雪止んで静寂一変子らの声

4 雪止んで静寂一変子らの声

音もなく降る雪がやむと、近所の子供達が大声で遊び始めた様子を詠みました。



5 歌留多とり手の触れ合いてときめいて

百人一首はよく暗記しましたね。



6 竹馬や一尺おとなになりける

垣根越しに隣家の様子がのぞき見える。ちょっとドキドキしたものです。



7 厚着してそこまで遊ぶ冬ゴルフ

寄居CC、山並みは比企丘陵。



8 有馬記念今年最後の運ためし

俳句



「雪遊び」撮影：久芽

1 双六の上がりを目指し目尻上げ

げらげら笑っていた子供達の目が終盤になると真剣になるのが好きです。

2 凧糸のあまりに延びて凧乱舞

凧上げなかなか上手く上げられません 一生懸命走りますが糸だけ延びてしまいます。

3 凧揚げも羽根つき 映画のワンシーン

最近では凧揚げ、羽根つきも映画の中でしか見られなくなりました。

4 靴下を重ねて庭へ雪遊び

5 独楽を見てこれは何ぞとたずねる子

6 羽子板の窪みの跡を指なぞり

桐の羽子板には羽根つきの跡が幾つも付きましたね。

7 初春や凧引きずりて子は走る

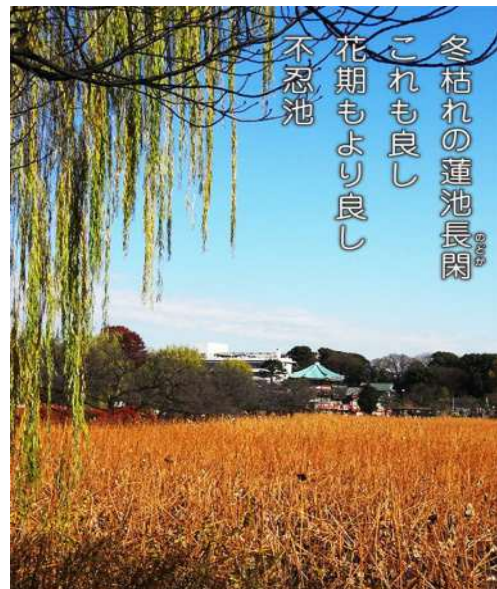
凧、凧揚げは春の季語だそうで、主季語を入れました。

短歌

冬枯れの蓮池長閑 (のどか)
これもよし
花期もよりよし
不忍池

準坊

不忍池を詠みました。
母が池之端に住んでいた為に良く散策しました。



孫守を終えて一息ふと見ればハンドバッグに雪だるまシール 北切雀

ご多聞に漏れず孫はシールが大好き。手の届く所ならどこでもペタペタ。

川柳

得意です廃棄に削除と知りません 準坊

醜いね金に任せてレバノンへ 準坊

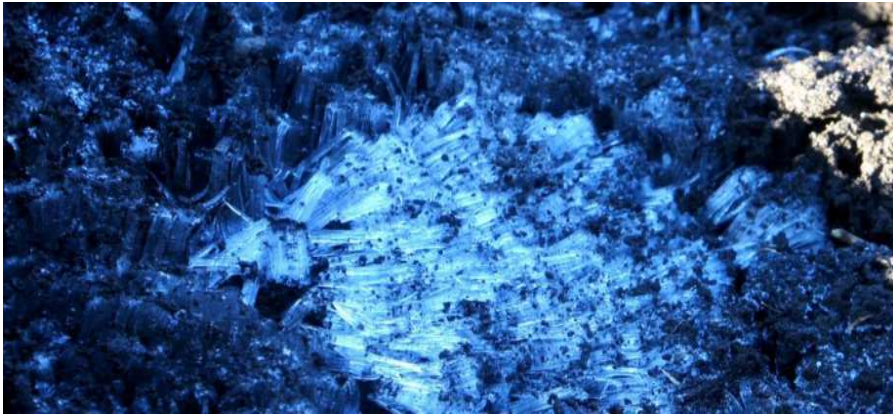
写真投稿

iSAMU 2点



万両

他に1両、十両、百両、千両があります。



霜柱

最近は埼玉南部ではあまり立たなくなりました。

令和元年12月「クリスマス」(出題者：梵木)の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

* 今月もまた勝手な判断で選ばせてもらいました。質の良い素敵な写真もたくさん、楽しませてもらいました。

(HSさん)

* 辛口のコメント嬉しいし参考になるので、もっといろいろ言ってくれる人が出たら良いなと思いました。コメントを受け容れるか、いれないかは自由なので辛口、大賛成です。ちなみに11月「空の旅」、私の俳句に頂いたコメントは全く言われた通りと納得しました。ありがとうございました(千泉)。

写真俳句 投票数：29

二席 幼なき頃わけもわからずくりすます 梵木 (7票)



- * サンタは信じていたものの、お正月の方が楽しみだった世代です。
- * 読者が想像する光景は一人ひとりそれぞれ自由。「くりすます」がひらがなで、日本は特にそうだけど、どの国でも幼いころは宗教とか分からず、無邪気にはしゃぐ子供たちの絵が湧いて「いいね！」。
- * 今も訳も分からず騒いでいる輩もいますね。
- * 確かにクリスチャンではない日本人にとって、子供の頃は楽しく嬉しければOK、盆と正月と一緒に来た的なわくわく感が溢れている気がします。特に最後のひらがな使いにそんなこどもを心を込められたのではと思いました。
- * プレゼントをもらえる日と思っていますよね
- * クリスマスの意味は何も分からなくても、いつもの日と違う「ワクワク、ドキドキ」がありました。
- * 幼稚園でイエズスさまの生誕劇をしたりした事覚えてないだろうな…誕生日でもないのにプレゼントを貰える 嬉しい日。

佳作 (令和元年12月号掲載順)



齢重ね今は二人のクリスマス iSAMU

<< 子供達が居る頃はもっと盛んに飾っていたが・・・.>>

- * 年月の中でクリスマスや正月の祝い方も変わる。しっとり、しみじみのクリスマスもいいですね。
- * とても共感したので。
- * 我が家では飾りも無くなりました。
- * 老夫婦2人だけのサイレントナイト。誰にもクリスマスは等しくやってくる
- * 我が家も同じ状況です。



馴鹿 (トナカイ) の頭とならんクリスマス 北切雀

<< 微笑ましい風景でした。中七は「あたま」でも「かしら」でもお好きなように読んでください。写真がないと分からない句ですが、そこは写真画像と共に楽しむということで乞ご容赦。>>

- * これぞ写真俳句の醍醐味。作者は日常の森羅万象を俳句的想像力に置きかえる力を鍛えています。トナカイ翁のポーズが膝を曲げてツノに合わせているのが面白い。正面から捉えると尚良かったかな。

街路樹にひかり咲きたるクリスマス 準坊



<< 樹木に電飾が当たり前になってますが自分はどうも?・・・.>>

- * エコ的には賛同しない。でも心が浮き立つ風景もいいものです。
- * 近年は12月になるとどこに行ってもひかりが咲きますね。
- * LEDは日本の発明とか。なんだか誇らしいです。
- * 街路樹のイルミネーションはクリスマスのイメージですね。

ハリポタの世界思わす聖夜かな 千泉



<< 昨年のクリスマスイブです。エジンバラの私立校です。>>

- * まさにハリポタ。色の溢れるクリスマス写真の中、モノクロが印象的。
- * イギリスを思い出す写真でした。
- * 写真がとても厳かで聖夜という感じですね。ハリポタという言葉が俳句に出るのもなんか時代を感じます。
- * 世界中で起きている紛争を回避する魔法の呪文を叫んでみたくなるビジュアルです。

* エディンバラの旧市街は、どこも中世に紛れ込んだかのようですよね。

クリスマス 赤い銀座の裏通り 昼寝覚

<< 裏通りでも銀座はおしゃれです。>>



- * さすが銀座。垢ぬけてますね。「銀ブラ」という懐かしい言葉の世界に浸りたくなりました。
- * 大人の遊びの街、銀座を「赤」という色で表現するのは上手だと思う。写真がなくても、イルミネーションの赤、そこから賑わっている通り、夜は飲食しながら遊ぶオトナ雰囲気がある句だと思った。
- * 最近のお決まりの派手なイルミネーションも見ごたえはありますが、自分はこんなハイセンスでおしゃれな心憎い演出に魅力を感じます。写真俳句ならではのステキな一句ですね。
- * 本当におしゃれですね。写真俳句にぴったりの句で素敵です。
- * 綺麗な写真ですね イヴの東京はこんなんですかね。

* 東京の場末に住んでいると、銀座はよそ行きの街。裏通りもシックで煌びやかです。
* 赤のLEDライトがしっとりとしていて、銀座らしいですね。



夕暮れて聖樹かがやき街に映え

夕暮れて聖樹かがやき街に映え 久芽

<< ビル街のツリーは近年よく見かけるようになりましたね。>>

- * 日本はクリスマスでも仕事は通常通り。終業、帰宅の目を憩わせるか。
- * ビルの谷間からクリスマスキャロルが流れてきそう。



降り積もる
燦たる光
イヴトーキョー

降り積もる燦たる光イヴトーキョー 池福楼

- * これは見事。まさに燦々たる光ですね。
- * 「イヴトーキョー」とカタカナで書くところに雰囲気出てます。燦たるという表現がいいですね。
- * まばゆいー、一体何処だ？

俳句 投票数：27

一席

早起きしサンタ来たよと大はしゃぎ 久芽（10 票）

<< 子供が幼少の頃の思い出です。あの頃は可愛かった！>>

- * クリスマスもお正月も子供の頃が一番。
- * ツリーの所に子供が寝たので、プレゼントを置くのに苦労しました。
（編集注：イギリスではプレゼントはツリーの下に置く事になっています。）
- * 素直なクリスマスのプレゼントの喜びを感じられていいね。
- * 少し成長した我が家の子供たちも、いまだに早起きして喜んでます。
- * まさしく何かプレゼントもらえるのが何よりの楽しみでしたねー。
- * サンタが来たことを信じてはしゃぐ子供の可愛さとともに、クリスマスが形骸化してしまっている現実との虚しさ複雑な心境になりました。
- * その子も親になれば、同じ体験をするのでしょうか。
- * 子供から孫になりましたが、我家でも同じ光景が続いています。
- * 昔を思い出します。
- * 子供の喜んでいた顔を思い出しました。

佳作（令和元年12月号掲載順）

クリスマス空とぶサンタCO2ゼロ 梵木

- * エコ戦士グレタさんのお墨付きの移動手段。このそりがあればColdplayもツアー再開するのに・・・。
- * 今の時代にぴったりの環境への優しさを意識した句ですね。こちら環境汚染しない空飛ぶ方法欲しい！
- * そう言われてみればまさにその通り！ サンタすごい！！
- * 空飛ぶサンタは究極のエコ。子供達の夢を壊さないですね。
- * グレタさんに続け。



撮影：梵木

恙 (つつが) なし迎えし聖夜星はなし 北切雀

<< 悪天候が続く。「し」を繰り返してみました。>>

* 世間とは裏腹に、いつものように変わらない普通の日。

愛おしく靴下吊るし聖夜待つ 池福楼

<< 幼子の夢の世界。自らの昔を懐かしむ。>>

- * 子供の頃、靴下は畳の枕元に置かれていました。懐かしい。
- * 幼子の靴下吊るしてワクワクしている様子が浮かんできます。

巫女さんも禰宜も街出るクリスマス 昼寝覚

<< 日本では宗教に関係のない年間行事ですね。>>

- * 異文化や習慣を都合の良いようにアレンジして楽しむ。それはそれでよし。
- * 日本ならではの現実の描写が面白いです。
- * 外国の文化も見境なく取り込んでしまうコマーシャルイズムを嘲笑う批判精神が効いている。

宇宙船を見上げサンタとさけぶ子ら 千泉

<< 数年前クリスマスに宇宙船が通ったのでみんな外に出ていました。>>

- * クリスマスに宇宙船を見る事が出来るなんて幸運。
- * 空に衛星がひしめき合う時代になるとは。
- * 宇宙飛行士がサンタの衣装を着ていた映像を思い出しました。
- * 宇宙船とサンタ、どちらもロマンを感じますね。

達郎の歌蘇る聖夜かな 準坊

山下達郎「クリスマスイブ」はクリスマスには欠かせませんでしたね。

- * 達郎は永遠ですね。
- * ♪きっと君は来ない〜 失恋の痛みは作者も体験？
- * クリスマスソング達郎の歌は定番ですネ。
- * マライア キャリーも定番。

短歌

いつまでもなんでもかでも「なぜなぜ」と聖夜の宇宙（そら）か孫の眼（まなこ）は
北切雀

* お孫さんの澄んだ瞳に宇宙の無限の広さが広がる。宇宙の「なぜ」は大人でも発してしまいます。

川柳

準坊 夫婦喧嘩灯り消えたらノーサイド

* ちょっと意味深ながら、仲よくなれて良かったね。

また出たぞ任命責任ゴメンだけ

* この内閣を「任命」した有権者にも苦言。

ご案内「桜を散らす会」安倍事務所

* 私も一句「招待の桜を見る会ワンチーム」。

北切雀 今月もスタバでひねる写楽句会

* コーヒー飲みながらは優雅です。当方は病院の待ち時間にひねる。

写真いいね！

降り積もる燦たる光イヴトーキョー 池福楼



* プロの写真家でないと、なかなか上手く撮れないイルミネーションだが、これは左上の丸い光の映り込みや、斜め線で臨場感があって「いいね！」（SNさん）。

- * 作者さん、読者さん、新年おめでとうございます。写楽句会は5年目となります。これからもなにとぞよろしくお願いいたします。
- * 令和2年如月2月は千泉さんから「暖房」、弥生3月は読者HSさんから「芽」と出ています。
- * 令和2年睦月1月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね！」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 令和2年1月への投票、2月号作品への投稿の締め切りはともに2月20日です。
- * 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。

「写楽句会」（五十音順）

池福楼、iSAMU、一枝、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

筆責：北切雀 校正：準坊、池福楼

写楽句会 連絡先：kinuko_thompson@hotmail.com

© 2020 Sharakukai

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html> または
四季の森空間 <http://isamusouma.web.fc2.com/>